

DATA FILE

貸借対照表(要旨)

(単位:億円、%)

科目	平成16年度上半期末	
	金額	構成比
資産の部		
現金及び預貯金	2,372	0.9
コールローン	3,500	1.4
買入金銭債権	957	0.4
金銭の信託	99	0.0
有価証券	152,840	61.0
うち公社債	84,060	33.5
うち株式	35,630	14.2
うち外国証券	31,881	12.7
貸付金	73,788	29.4
不動産及び動産	13,324	5.3
うち土地	8,025	3.2
うち建物	5,094	2.0
その他資産	3,005	1.2
繰延税金資産	1,007	0.4
貸倒引当金	△ 139	△ 0.1
資産の部合計	250,757	100.0

損益計算書(要旨)

(単位:億円、%)

科目	平成16年度上半期	
	金額	百分比
①経常収益	20,138	100.0
保険料等収入	15,288	
うち保険料	15,278	
資産運用収益	2,772	
うち利息及び配当金等収入	2,522	
うち有価証券売却益	159	
その他経常収益	2,077	
うち責任準備金戻入額	777	
②経常費用	18,245	90.6
保険金等支払金	14,625	
うち保険金	4,620	
うち年金	1,365	
うち給付金	3,085	
責任準備金等繰入額	1	
資産運用費用	531	
うち有価証券売却損	199	
うち有価証券評価損	86	
事業費	1,830	
その他経常費用	1,255	
③経常利益(=①-②)	1,893	9.4
④特別利益	22	0.1
うち不動産動産等処分益	2	
うち貸倒引当金戻入額	20	
⑤特別損失	723	3.6
うち不動産動産等処分損	58	
うち減損損失	208	
うち価格変動準備金繰入額	283	
⑥税引前中間純剰余(=③+④-⑤)	1,193	5.9
⑦法人税及び住民税	506	2.5
⑧法人税等調整額	△ 278	-
⑨中間純剰余(=⑥-⑦-⑧)	965	4.8
⑩土地再評価差額金取崩額	△ 66	-
⑪任意積立金目的取崩額	5	0.0
⑫中間未処分剰余金(=⑨+⑩+⑪)	903	4.5

科目	平成16年度上半期末	
	金額	構成比
負債の部		
保険契約準備金	227,247	90.6
支払備金	1,602	0.6
責任準備金	220,233	87.8
社員配当準備金	5,410	2.2
その他負債	6,658	2.7
退職給付引当金	738	0.3
偶発損失引当金	647	0.3
価格変動準備金	1,911	0.8
再評価に係る繰延税金負債	468	0.2
負債の部合計	237,672	94.8
資本の部		
基金	1,500	0.6
基金債積立金	2,000	0.8
再評価積立金	4	0.0
剰余金	1,931	0.8
損失てん補準備金	50	0.0
任意積立金	977	0.4
中間未処分剰余金	903	0.4
土地再評価差額金	827	0.3
株式等評価差額金	6,821	2.7
資本の部合計	13,084	5.2
負債及び資本の部合計	250,757	100.0

貸借対照表(要旨)について

「資産の部」

生命保険会社の資産の部は、一般の企業のような流動・固定の区分ではなく、どのように運用しているのかがわかるように資産運用の形態(現金及び預貯金、有価証券、貸付金、不動産及び動産など)により区分しています。

「負債の部」

生命保険会社では、保険業法の規定により、将来の保険金・年金・給付金の支払いに備え、ご契約者から払い込まれた保険料などをと、責任準備金の積立が義務づけられています。負債の部は、この責任準備金などの保険契約準備金などが大部分を構成しています。

「資本の部」

相互会社の資本の部は、株式会社の資本金に相当する基金や基金債積立金、土地再評価にともなう土地再評価差額金、その他有価証券の時価評価による株式等評価差額金などによって構成されています。

損益計算書(要旨)について

生命保険会社では、一般の企業のような営業損益、営業外損益、特別損益という区分ではなく、経常損益、特別損益の2つの区分になります。経常損益は、保険にかかわる損益と資産運用にかかわる損益およびそれ以外の損益で構成され、経常収益と経常費用に分けられます。経常収益には保険料等収入や資産運用収益などが記載され、経常費用には保険金等支払金や資産運用費用、事業費などが記載されています。この経常収益と経常費用の差額が経常利益となり、これに特別損益を加減したものが税引前中間純剰余となり、これに税調整等を行ない、中間純剰余が算出されます。

基礎利益

(単位:億円)

項目	平成16年度上半期
基礎利益 A[①-②]	2,346
基礎収益①	20,225
保険料等収入	15,288
資産運用収益(注1)(注2)	2,611
その他経常収益(注2)	2,325
基礎費用②	17,879
保険金等支払金	14,625
責任準備金等繰入額	1
資産運用費用(注2)	166
事業費	1,830
その他経常費用	1,255
キャピタル損益 B	△ 204
臨時増益 C	△ 247
経常利益 A+B+C	1,893

(注1) 資産運用収益には、金銭の信託運用損益および売買目的有価証券運用損益のうち、利息及び配当金等収入に相当する金額を含みます。
(注2) 損益計算上の資産運用収益・費用およびその他経常収益のうち、キャピタル損益および臨時増益に相当する金額を削いでいます。

リスク管理債権額

(単位:億円)

区分	平成16年度上半期末	平成15年度末
	被控先債権額	10
延滞債権額	112	108
3ヵ月以上延滞債権額	—	0
貸付条件緩和債権額	368	351
合計	491	472
(貸付残高に対する比率)	0.67%	0.59%
(保全率)	91.1%	96.3%

(注) 保全率は、リスク管理債権額に対する、担保、保証、貸倒引当金等で保全された債権額の割合です。

有価証券の含み損益(一般勘定)

(単位:億円)

区分	平成16年度上半期末			平成15年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
公社債	81,624	83,298	1,674	73,325	74,780	1,454
株式	22,562	30,924	8,362	23,156	31,439	8,282
外国証券	25,763	27,608	1,844	25,311	26,373	1,062
その他合計	131,295	143,284	11,988	123,296	134,188	10,891

(注1) 時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。

(注2) その他合計には買入金銭債権額を含みます。

当社の格付

(平成16年11月1日時点)

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。	(株)日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付	A+	(株)日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付	A+
	AMベスト社 保険財務力格付	A	スタンダード&アース(S&P) 保険財務力格付	BBB+

※「保険金支払能力格付」は、保険金支払債務を契約どおり支払うことができる能力を評価したものであり、格付評価の指標です。「保険財務力格付」は、保険契約の諸条件に従い「保険金を支払う能力」に評価し、保険会社の財務内容について評価したものです。

※上記の格付は、当社が使用して取得したものです。

※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。

※格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・撤回される場合があります。

ソルベンシー・マージン比率

(単位:億円)

項目	平成16年度上半期末	平成15年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	27,397	26,011
①資本の部合計	5,570	5,566
②価格変動準備金	1,911	1,628
③危険準備金	4,647	4,399
④一般貸倒引当金	86	100
⑤その他有価証券の評価差額(税効果控除前)×90%	9,614	8,635
⑥土地含み損益	△ 580	△ 647
⑦負債性資本調達手段等(劣後ローン、劣後債等)	1,000	1,097
⑧控除項目	—	△ 19
⑧その他(保険契約準備金の一部、税効果相当額等)	5,146	5,059
リスクの合計額(B) $\sqrt{⑩^2 + ⑪^2 + ⑫^2} + ⑬$	6,824	6,956
⑩保険リスク相当額	2,056	2,100
⑪予定利率リスク相当額	1,240	1,241
⑫資産運用リスク相当額	5,090	5,210
⑬経営管理リスク相当額	167	171
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	802.9%	747.9%

(注1) 上記は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
(注2) 「資本の部合計」には社外流出予定額およびその他有価証券の評価差額を除いた金額を記載しています。
(注3) 「土地含み損益」には再評価後の時価変動による含み損益を記載しています。「土地の再評価」に関する法律に基づき、報告時点は平成15年度末に、変更内容は平成16年度末に再評価を実施しました。

実質純資産額

(単位:億円)

	平成16年度上半期末	平成15年度末
実質純資産額	27,803	26,877
(一般勘定資産に対する比率)	11.4%	10.9%

(注) 「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しています。

明治安田生命プロフィール

(平成16年9月末)

正式名称	明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company
総資産	25兆 757億円
基金総額	3,500億円(基金債積立金を含む)
保有契約高	281兆7,082億円(個人保険・個人年金保険・団体保険の合計)
新契約高	5兆9,752億円(個人保険・個人年金保険/平成16年4~9月)
社員(契約者)数	7,432,052人(平成16年3月末)
従業員数	47,829人(うち営業職員37,709人)
営業拠点数	支社/100 営業所/1,519 法人部/25(平成16年10月1日)